

令和元年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.12 開催



令和元年11月6日(水)、維新百年記念公園「維新大晃アリーナ」(山口市)において、令和元年度農村環境の未来を考える研修会を開催しました。

この研修会は、日本型直接支払制度の更なる活動の向上に資する情報発信や活動組織の交流の場として開催しており、今回は、スマート農業に関連する講演やスマート農機等を展示し、関係団体を含めて973名の参加がありました。

オープニングセレモニーでは地元山口大学混声合唱団により素晴らしい合唱を披露いただき、山口県日本型直接支払推進協議会北村会長の主催者挨拶に続き、大浦中国四国農政局長と阿武山口県農林水産部審議監より祝辞を頂きました。

表彰式では、令和元年度推進協議会会長賞を受賞された多面的機能支払交付金部門の「長門市農地・水・環境保全組織へき保全会管理協定」(長門市)、中山間地域等支払交付金部門の「伏馬麓集落協定」(萩市)に北村会長から賞状と記念品が授与されました。

事例報告として平成30年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長賞最優秀賞を受賞された、「田布施町地域広域協定」(田布施町)の小野会長から、国営事業の着手、広域連携法人の設立や広域活動組織の設立等について紹介があり、平成30年度山口県日本型直接支払推進協議会会長賞を受賞された「吉敷畑集落協定」から棚田とシバザクラの景観で地域の魅力を発信と題した報告が行われました。基調講演では岡山県真庭市の新田直人産業観光部長から「スマート農業で中山間を元気に」～「里山資本主義」真庭の挑戦～と題し講演が行われ、また(株)中四国クボタ担い手推進部の藤六恵部長の「スマート農業技術について」講演を頂きました。



北村会長



大浦農政局長



阿武審議監

令和元年度 農村環境の未来を考える研修会 VOL.12
主催 山口県日本型直接支払推進協議会

令和元年度
農村環境の
未来を考える研修会
VOL.12

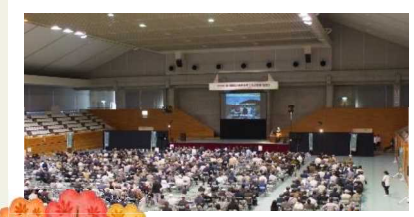


山口大学混声合唱団

◎ 基調講演 ◎



◎ 事例報告 ◎



令和元年度
推進協議会会長賞受賞

伏馬麓集落協定

へき保全会管理協定